



埼玉の社叢

岩槻市久伊豆神社社叢ふるさとの森

岩槻市宮町二一六―五五

久伊豆神社は、県東南部に位置する岩槻市のほぼ中央部、旧岩槻城郭を構成する新正寺曲輪内の台地に鎮座している。

神社の社叢(約二畝)は、昭和五十七年三月に県の指定を受け、更に昭和六十一年一月には、「埼玉の自然一〇〇選」に認定されている。

林相は、スダジイ・スギ・クスノキ・ケヤキ・ヒノキ・アカマツ・クロマツ・カシ・サカキ・ソメイヨシノの巨高木が大半であるが、亜高木・低木は、サカキ・ヒサカキ・ヤブツバキ・ネズミモチ・アオキ・ツツジ・ピナンカヅラの常緑樹である。落葉樹には、クヌギ・エノキ・ムラサキシキブ・イロハカエデ・ソメイヨシノ等がある。中には樹齢四百年といわれる県指定天然記念物「大サカキ」を始め、市指定保存樹木の「モッコク」がある。

また、社域の北東を流れる元荒川(赤間堀)の自然堤防上には、シラカシ・クヌギの雑木林(〇・九一畝)が続き、これも岩槻市指定「赤間堀ふるさとの森」になっている。